

この夏、ぽっかり空いた胸の隙間を埋めるため、なぜか「般若心経」を分かり易く日本語に訳したものはないかなと、学祭期間中にもかかわらず、探しておりましたら、ありました！ありました！！

ほんと、これなんだよな・・・生きるってことは！

では、紹介しましょう！

○摩訶般若波羅密多心経

観自在菩薩。行深般若波羅密多時。照見五蘊皆空。度一切苦厄。舍利子。色不異空。空不異色。色即是空。空即是色。受想行識。亦復如是。舍利子。是諸法空相。不生不滅。不垢不淨。不增不減。是故空中。無色無受想行識。無眼耳鼻舌身意。無色声香味触法。無眼界乃至無意識界。無無明亦無無明盡。乃至無老死。亦無老死盡。無苦集滅道。無智亦無得。以無所得故。菩提薩埵。依般若波羅密多故。心無罣礙。無罣礙故。無有恐怖。遠離一切顛倒夢想。究竟涅槃。三世諸仏。依般若波羅密多故。得阿耨多羅三藐三菩提。故知般若波羅密多。是大神呪。是大明呪。是無上呪。是無等等呪。能除一切苦。真實不虛。故説般若波羅密多呪。即説呪曰。羯諦羯諦。波羅羯諦。波羅僧羯諦。菩提薩婆訶。般若心経。

<超現代語訳>

『超スゲェ楽になれる方法を知りたいか？

誰でも幸せに生きる方法のヒントだ。

もっと力を抜いて楽になるんだ。

苦しみも辛さも全てはいい加減な幻さ、安心しろよ。

この世はむなしいモンだ。

痛みも悲しみも最初から空っぽなのさ。

この世は変わりゆくモンだ。

苦を楽に変えることだってできる。

汚れることもありゃ背負い込むことだってある。

だから抱え込んだモンを捨てちまうこともできるはずだ。

この世がどれだけいい加減か分かったか？

苦しみとか病とか、そんなモンにこだわるなよ。

見えてるものにこだわるな。

聞こえるものにしがみつくな。

味や香りなんて人それぞれだろ？

何のアテにもなりゃしない。

揺らぐ心にこだわっちゃダメさ。

それが「無」ってやつさ。

生きてりゃ色々あるさ。

辛いモノを見ないようにするのは難しい。

でも、そんなもんその場に置いていけよ。
先のことは誰にも見えねえ。
無理して照らそうとしなくていいのさ。
見えない事を愉しめばいいだろ。
それが生きてる実感ってヤツなんだよ。
正しく生きるのは確かに難しいかもな。
でも、明るく生きるのは誰にだって出来るんだよ。
菩薩として生きるコツがあるんだ。
苦しんで生きる必要なんてねえよ。
愉しんで生きる菩薩になれよ。
全く恐れを知らなくなったらロクな事にならねえけどな。
適度な恐怖だって生きていくのに役立つモンさ。
勘違いするなよ。
非常になれって言ってるんじゃないねえ。
夢や空想や慈悲の心を忘れるな。
それができりゃ涅槃はどこにだってある。
生き方は何も変わらねえ。
ただ、受け止め方が変わるのさ。
心の余裕を持てば誰でもブツダになれるんだ。
この般若を覚えとけ。
短い言葉だ。
意味なんて知らなくていい。
細けえことはいいんだよ。
苦しみが小さくなったらそれで上等だろ。
嘘もデタラメも全て認めちまえば苦しみは無くなる。
そういうモンなのさ。
今までの前置きは全部忘れてもいいぜ。
でも、これだけは覚えとけ。
気が向いたら呟いてみろ。
心の中で唱えるだけでもいいんだぜ。
いいか、耳かっぽじってよく聞けよ。
「唱えよ、心は消え、魂は静まり、全ては此処にあり、
全てを越えたものなり。」
「悟りはその時叶うだろう。全てはこの真言に成就する。」
心配すんな。大丈夫だ。』